

平成14年10月30日  
中国電力株式会社

## 競争力強化に向けた技術研究開発戦略の策定について

当社は、お客さまに選択され続ける企業を目指し、電力の安定供給・コストダウンをはじめ、電力利用拡大・有効利用推進、環境保全、廃棄物の有効利用等、電気事業に関わる幅広い技術開発に取り組んでいますが、エネルギー事業等の自由化が進展する中で、技術開発についてもより戦略的な取り組みが必要となっています。

このため、当社は、更なる競争の激化とビジネスチャンスの拡大に備え、このたび、下記のとおり、技術研究開発分野の重点化、実用化研究のスピード化等を柱とする技術研究開発戦略を策定しました。

### 記

#### 1. 技術研究開発の重点的な取り組み

当社の主力商品である電気の価格競争力強化と安定供給に関する研究開発、ならびに、電気を最大限に活用した最適エネルギーサービスメニューの利用拡大に関する研究開発、廃棄物の有効活用をはじめとする環境負荷の低減に関する研究開発等、当社の事業展開に深く関係する以下の課題に重点的に取り組んでまいります。

##### (1) 電気のコストダウンと安定供給

予防保全技術、系統技術等の電力基盤技術など

##### (2) 最適エネルギーメニューの提案によるワンストップサービス

電気利用商品技術、電力貯蔵技術、電気利用コンサルティング技術、分散型電源技術、燃料関連技術など

##### (3) リサイクル率向上技術による環境負荷の低減

CO<sub>2</sub>対策技術、環境汚染物質排出防止・処理技術、廃棄物有効活用技術など

##### (4) 情報通信プラットフォーム整備、情報・通信ソリューションビジネス展開

情報通信関連技術

##### (5) ビジネス・生活支援に関する地域ニーズを考慮した活動

電気有効利用技術など

#### 2. 研究開発の取り組みの強化

##### (1) 実用化研究スピードの加速

- ・ 実用化を目指した研究開発について、3年以内の開発を基本とします。
- ・ 研究開発費の7割程度を実用化研究に振り分けます。

**(2) 費用対効果による評価の徹底**

目標の数値化と、成果・費用・期間等による評価を徹底し、研究開発の加速・中止の判断を早めます。

**(3) グループ一体となった取り組み**

グループ総合力を発揮するため「グループ技術研究会議」を11月から設置し、グループ一体となった技術開発を推進します。

**(4) 産学官の連携強化**

産学官の連携により、地域のニーズ、シーズを活用した技術開発を行っていきます。

[参考資料] [事業分野と主な技術研究開発課題](#)

以上

[参考資料] 事業分野と主な技術研究開発課題

